

新宮山彦ぐるーぷ第2116回

笠捨山捲き道（旧通信道）の倒木処理

◇実施日… 2021年2月21日（日）晴

◇参加者… 山川治雄、梶野照雄

2名

昨年秋、槍ヶ岳靡看板設置の際笠捨山の捲き道を通過したが、2年前に枝先を切除した倒木が道を塞ぐようになっていて、跨いだり潜ったりで通過が困難な状況になっていた。台風で倒れた木だが、枝の数が多く、処理には時間がかかるため、今回は倒木処理だけを目的とした。



2年前の状態



昨年秋の状態



本日の状態

9時に登山口着、気温は高く3月下旬の陽気だ。2日前に降った

雪は殆ど溶けていて、北側斜面の日陰にだけ少し残っている。行仙宿に着いて、小屋周りを確認してから出発、24番鉄塔のベンチで休憩した。ここ迄に特別異常は見当たらないが、鉄塔横の崩れは相変わらずで、少し上の方に道を付けるほうが良いのかもしれない。鉄塔ベンチからまだ先だと思っていたが、5分も歩かずに倒木現場に着いた。



倒木処理中

葛川辻側に回って倒木の状態を観察する。一本の大きな木だと思っていたが、三本の木が同じ方向にまとまって倒れていた。根元部分は岩に引っ掛かっていて、先端を切除しても下に落ちてこないことを確認してから作業を始めた。

手の届く先端部分を切り落として、通過場所を確保してから上部に登って切り落としていく。チェーンソーは2台なので順調に作業は進み、ちようど一時間で倒木処理は終了した。

鉄塔ベンチまで戻って昼食、食後行仙宿に向かう。



倒木処理後

捲き道分岐に戻る



本日の参加者

残雪の笠捨山

13℃だった

行仙宿に帰ってきて、コーヒーを入れて休憩後下山した。
玄関わきの温度計は13℃を指していた。

(記：梶野)

行動タイム

09:00 登山口↓09:25 行仙宿↓09:40 捲き道分岐↓10:10 鉄塔
ベンチ↓10:24 倒木現場 11:25→12:21 捲き道分岐↓12:35 行仙
宿↓13:35 登山口